

# Russell/Nomura 日本株インデックス パフォーマンス・レビュー

## 07年2月はバリュー株、大型株がアウトパフォーム

Russell/Nomura Prime 指数（米ドル建て）は前月末より 4.13%の上昇となった。引き続きバリュー株のパフォーマンスが良好であり、大型株の中でのバリュー株の効果も有効であった。リビジョン・インデックスは前月の 0.83 より上昇し 1.20 となった。

- 【スタイル別ではバリュー株、大型株】2007年2月の Russell/Nomura Prime 指数（米ドル建て）では、月次リターンが 4.13%上昇する結果となった。スタイル別では、バリュー株、大型株が良好なパフォーマンスを見せた。
- 【リビジョン・インデックスは 1.20】個別銘柄の業績修正動向を示すリビジョン・インデックスは前月の 0.83 より上昇し、1.20 となった。前月に引き続き僅かながら上方修正の銘柄数が下方修正の銘柄数を上回る結果を示した。
- 【鉄鋼がアウトパフォーム】Russell/Nomura Prime 指数における業種別では鉄鋼が最も高い月次リターンを示した。当業種は、2006 年末にかけて高パフォーマンスを示し、再びアウトパフォームする結果となった。
- 【ソニー（6758）の寄与度が最上位に】Russell/Nomura Prime 指数構成銘柄で見た寄与度ランキングでは、前月も上位に寄与したソニー（6758）が最も高いプラスの寄与度を示した。

### スタイル別月次ランキング(円建て・配当込み)

順位	200504	200505	200506	200507	200508	200509	200510	200511	200512	200601	200602	200603
1	小型 -2.77	コア 2.49	小型 4.18	小型 3.25	割安 6.42	割安 13.04	小型 5.71	成長 8.65	小型 10.19	割安 4.67	割安 -1.11	小型 5.51
2	コア -4.28	成長 1.87	市場 2.90	成長 2.25	コア 6.13	コア 12.99	割安 2.44	コア 7.48	成長 9.32	コア 4.42	コア -1.17	成長 4.82
3	市場 -4.31	割安 1.77	割安 2.76	市場 2.21	市場 5.67	市場 12.01	市場 2.09	市場 6.63	市場 7.40	市場 3.71	市場 -2.58	市場 4.73
4	成長 -4.45	市場 1.62	成長 2.70	コア 2.11	成長 5.60	成長 11.90	コア 1.08	小型 5.67	コア 6.35	成長 3.06	成長 -2.89	割安 4.33
5	割安 -4.50	小型 -0.18	コア 2.31	割安 1.88	小型 2.49	小型 7.73	成長 0.77	割安 5.00	割安 4.61	小型 2.86	小型 -6.87	コア 4.18
順位	200604	200605	200606	200607	200608	200609	200610	200611	200612	200701	200702	
1	コア 0.38	割安 -7.54	コア 1.55	コア 0.95	小型 4.77	成長 -0.85	コア 1.61	コア -0.50	コア 5.91	割安 3.47	割安 2.98	
2	割安 0.17	市場 -7.90	成長 1.14	割安 -0.24	成長 4.11	市場 -0.97	成長 1.09	成長 -0.60	割安 5.46	小型 3.06	コア 1.99	
3	市場 -0.70	成長 -7.94	市場 0.61	成長 -0.56	市場 4.07	割安 -1.08	市場 0.61	市場 -0.80	成長 5.03	コア 2.57	市場 1.78	
4	成長 -1.20	コア -8.03	割安 0.53	市場 -0.91	コア 3.86	小型 -1.25	割安 0.56	割安 -0.88	市場 4.99	市場 2.39	小型 1.09	
5	小型 -2.07	小型 -9.24	小型 -1.44	小型 -5.44	割安 3.82	コア -1.32	小型 -1.49	小型 -1.69	小型 3.10	成長 1.22	成長 0.82	

投資スタイルと対応指数

市場	Russell/Nomura Prime
コア	Russell/Nomura Top Cap
割安	Russell/Nomura Large Cap Value
成長	Russell/Nomura Large Cap Growth
小型	Russell/Nomura Small Cap

(注) リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融経済研究所

2007年3月6日  
クオンツレポート

カテゴリー

インデックス・リサーチ

野村証券金融経済研究所  
金融工学研究センター

石毛 洋子

田村 浩道

03-3274-1079

arai-1ms4@jp.nomura.com

野村証券株式会社 金融経済研究所 〒100-8130 東京都千代田区大手町 2-2-2 アーバンネット大手町ビル

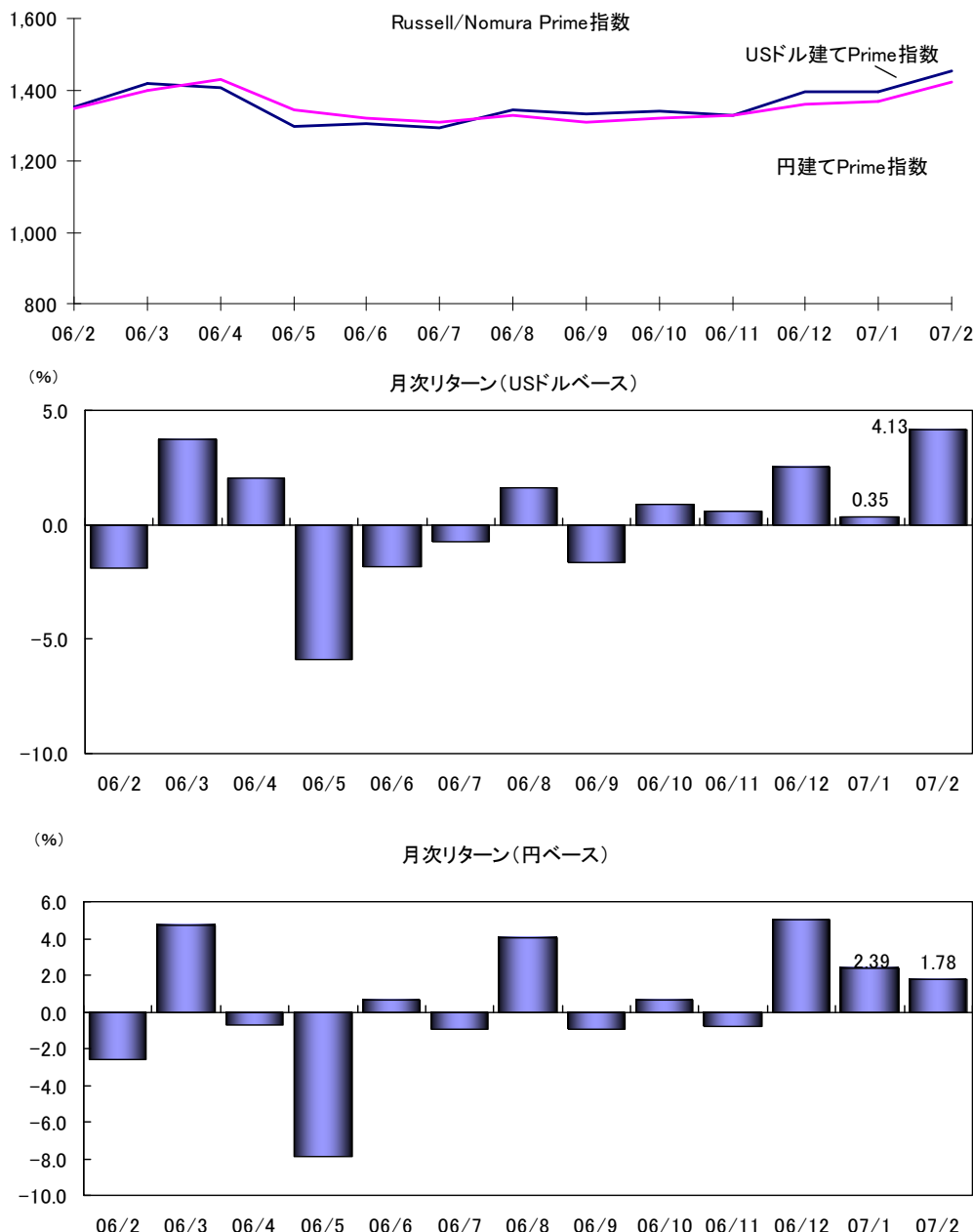
このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

# 1. Russell/Nomura 日本株インデックスパフォーマンス概況

**07年2月のPrime指数(米ドル建て)は、前月比4.13%の上昇**

2007年2月は、日本株式市場の動きを示す Russell/Nomura Prime 指数(米ドル建て)が前月比 4.13%の上昇となった。2月末時点の為替レート(月末終値、出所：日本銀行)は、1月末時点の 121.34 円から 118.59 円となった。円建てベースでは、前月比 1.78%の上昇となっている(図表1)。

図表1 Russell/Nomura Prime 指数月次パフォーマンス



(注) リターンは配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融経済研究所

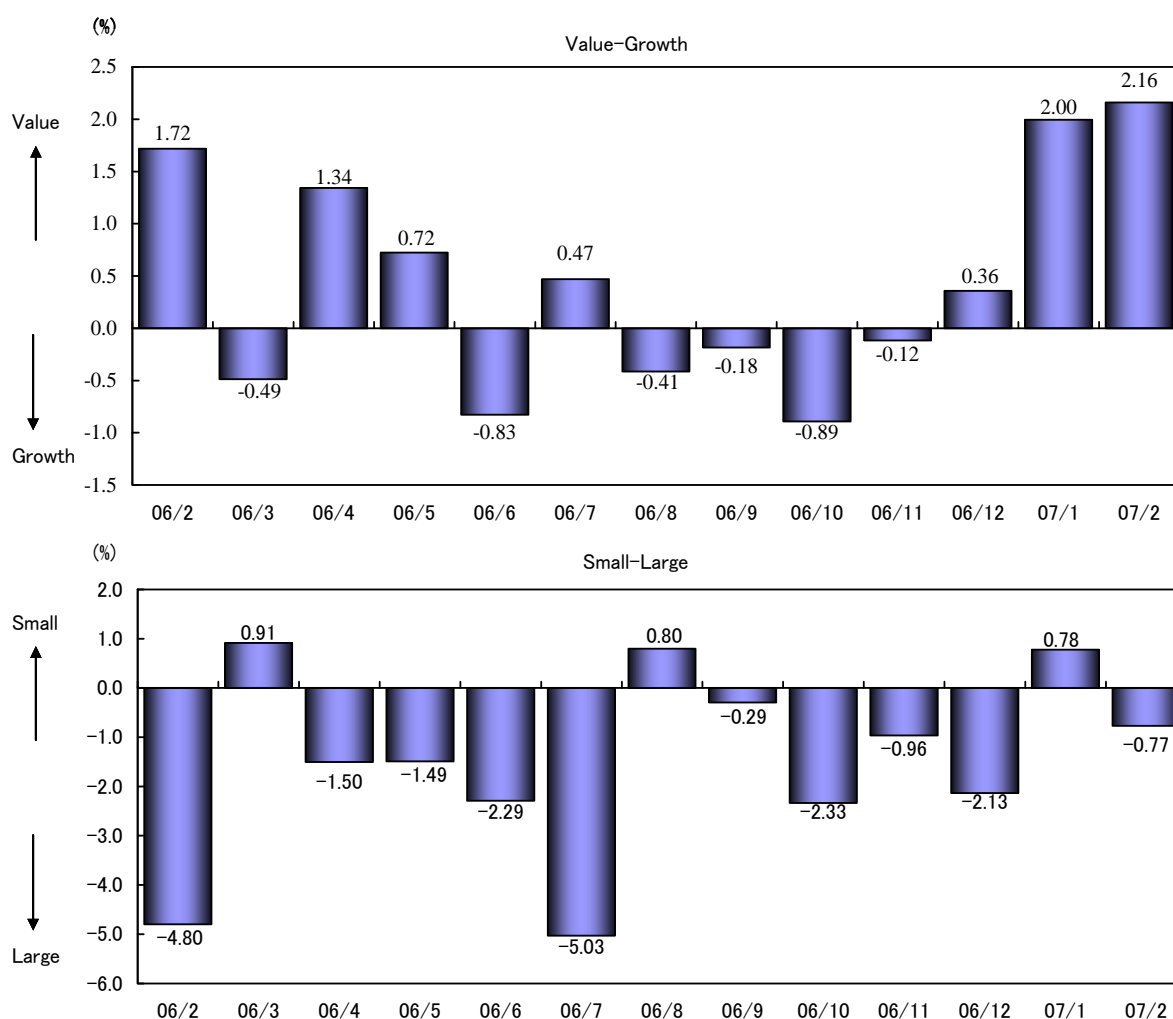
このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします

バリューストック引き続き好調

図表 2 に、スタイル別のリターン・スプレッドを示している。また、図表 3 は、市場、コア（時価総額上位 50%以上）、割安（大型・バリューストック）、成長（大型・グロース株）、小型といった 5 つのスタイル区分による月次リターンのランキングを表している。なお、ここでのパフォーマンスの算出には、円建てベースの数値を採用している。

前月に引き続きバリューストックのパフォーマンスは、好調であった。バリューストックとグロース株では 2.16% のスプレッド・リターンとなっており、前月の 2.00% を上回った（図表 2）。サイズ別では、大型株が堅調で、小型株と大型株のスプレッド・リターンは -0.77% となった。また、（図表 3）を見ると、大型バリューストックが、Prime 指数をアウトパフォームし、大型株においてもバリューストック効果が有効であったことが確認できる。

図表 2 スタイル別パフォーマンス



（注） Value-Growth は Value と Growth のリターンの差、 Small-Large は Small と Large のリターンの差である。

リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

（出所）野村証券金融経済研究所

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたします。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします

図表3 スタイル別月次ランキング(円建て・配当込み)

順位	200504	200505	200506	200507	200508	200509	200510	200511	200512	200601	200602	200603
1	小型 -2.77	コア 2.49	小型 4.18	小型 3.25	割安 6.42	割安 13.04	小型 5.71	成長 8.65	小型 10.19	割安 4.67	割安 -1.11	小型 5.51
2	コア -4.28	成長 1.87	市場 2.90	成長 2.25	コア 6.13	コア 12.99	割安 2.44	コア 7.48	成長 9.32	コア 4.42	コア -1.17	成長 4.82
3	市場 -4.31	割安 1.77	割安 2.76	市場 2.21	市場 5.67	市場 12.01	市場 2.09	市場 6.63	市場 7.40	市場 3.71	市場 -2.58	市場 4.73
4	成長 -4.45	市場 1.62	成長 2.70	コア 2.11	成長 5.60	成長 11.90	コア 1.08	小型 5.67	コア 6.35	成長 3.06	成長 -2.89	割安 4.33
5	割安 -4.50	小型 -0.18	コア 2.31	割安 1.88	小型 2.49	小型 7.73	成長 0.77	割安 5.00	割安 4.61	小型 2.86	小型 -6.87	コア 4.18
順位	200604	200605	200606	200607	200608	200609	200610	200611	200612	200701	200702	
1	コア 0.38	割安 -7.54	コア 1.55	コア 0.95	小型 4.77	成長 -0.85	コア 1.61	コア -0.50	コア 5.91	割安 3.47	割安 2.98	
2	割安 0.17	市場 -7.90	成長 1.14	割安 -0.24	成長 4.11	市場 -0.97	成長 1.09	成長 -0.60	割安 5.46	小型 3.06	コア 1.99	
3	市場 -0.70	成長 -7.94	市場 0.61	成長 -0.56	市場 4.07	割安 -1.08	市場 0.61	市場 -0.80	成長 5.03	コア 2.57	市場 1.78	
4	成長 -1.20	コア -8.03	割安 0.53	市場 -0.91	コア 3.86	小型 -1.25	割安 0.56	割安 -0.88	市場 4.99	市場 2.39	小型 1.09	
5	小型 -2.07	小型 -9.24	小型 -1.44	小型 -5.44	割安 3.82	コア -1.32	小型 -1.49	小型 -1.69	小型 3.10	成長 1.22	成長 0.82	

投資スタイルと対応指数

市場	Russell/Nomura Prime
コア	Russell/Nomura Top Cap
割安	Russell/Nomura Large Cap Value
成長	Russell/Nomura Large Cap Growth
小型	Russell/Nomura Small Cap

(注) 単位は%。リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

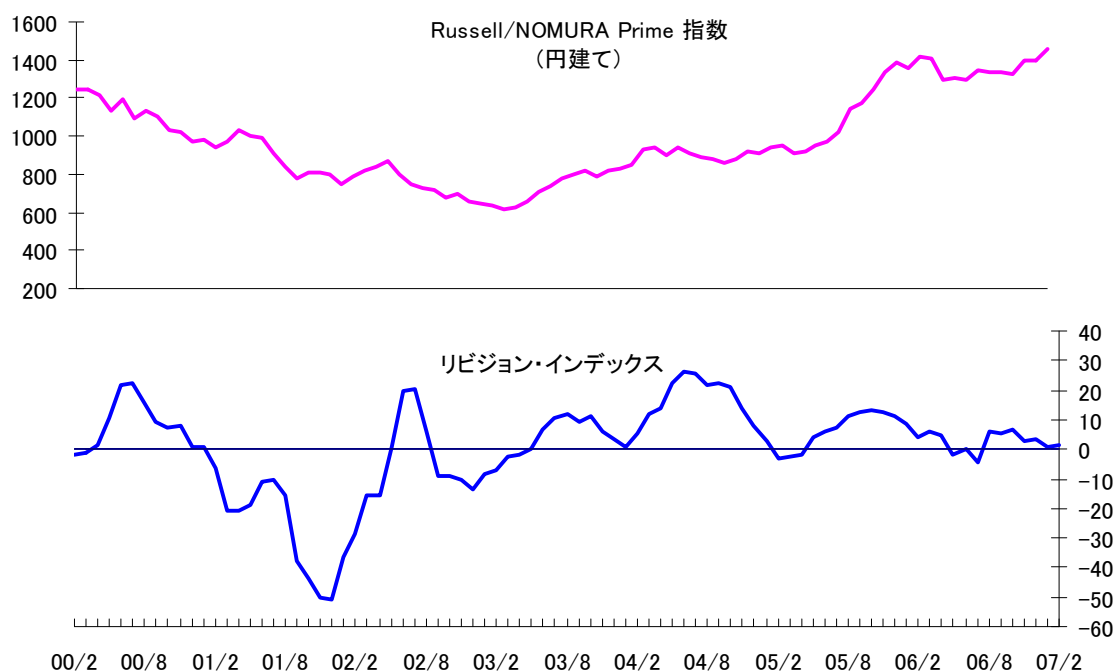
(出所) 野村証券金融経済研究所

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

## リビジョン・インデックスは僅かに上昇

Russell/Nomura 日本株インデックスを構成する銘柄の業績修正動向を示すリビジョン・インデックスを見ると（図表4）、2007年2月は、前月の0.83から僅かながら上昇し、1.20となった。上方修正銘柄数が425銘柄、下方修正銘柄数が406銘柄となっており、上方修正銘柄数が下方修正銘柄数を上回った。

図表4 リビジョン・インデックスとパフォーマンス



	リビジョン インデックス	上方修正 銘柄数	下方修正 銘柄数
<b>2007年02月</b>	<b>1.20</b>	<b>425</b>	<b>406</b>
2007年01月	0.83	503	490

(注) リビジョン・インデックスとは、 $(\text{上方修正銘柄数} - \text{下方修正銘柄数}) / \text{有効銘柄数} \times 100$  で算出される業績の修正動向を示す指数である。2007年2月の有効銘柄数は1,587銘柄。業績予想は野村及び東洋経済が予想する連結・経常利益を用いている。ここでは、母集団を Russell/Nomura 日本株に含まれる全銘柄とし、月次の業績修正に基づいて算出している。

(出所) 野村証券金融経済研究所

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

## 2. 業種別パフォーマンス・レビュー

### 再び鉄鋼が上昇

2007年2月は、Prime 指数において、良好なパフォーマンスを見せた業種は、鉄鋼であった。当業種は、2006年末にかけて高パフォーマンスを見せ、再び2月末に月次リターン、円建てベースで12.21%上昇している。ついで、卸売業、陸運業などの非製造業の高パフォーマンスが目立った。一方、パフォーマンス悪化が目立った業種は、その他製品、その他金融などであった。(図表5)。

図表 5. Russell/Nomura 業種別パフォーマンス(上位・下位 10 業種)

指数	Prime	1.78	Large Value	2.98	Large Growth	0.82	Small	1.09
上位業種	Prime		Large Value		Large Growth		Small	
	1 鉄鋼	12.21	不動産業	12.28	鉄鋼	12.67	鉄鋼	13.21
	2 卸売業	9.17	卸売業	11.82	非鉄金属	11.58	鉱業	11.79
	3 陸運業	8.98	鉄鋼	11.64	陸運業	9.54	証券・商品先物取引業	9.28
	4 石油・石炭製品	8.28	精密機器	10.97	不動産業	7.09	海運業	8.91
	5 非鉄金属	7.75	石油・石炭製品	8.76	電気・ガス業	6.94	非鉄金属	7.61
	6 不動産業	6.59	陸運業	7.61	海運業	6.78	食料品	6.72
	7 海運業	5.93	医薬品	7.18	石油・石炭製品	5.86	陸運業	6.17
	8 倉庫・運輸関連業	5.30	建設業	6.85	保険業	5.41	保険業	5.95
	9 情報・通信業	4.89	情報・通信業	6.78	情報・通信業	5.10	倉庫・運輸関連業	5.74
10 医薬品	3.73	海運業	5.12	空運業	3.48	石油・石炭製品	4.16	
下位業種	Prime		Large Value		Large Growth		Small	
	1 その他製品	-6.81	ゴム製品	-4.60	その他製品	-10.64	精密機器	-5.96
	2 その他金融業	-4.16	その他金融業	-4.45	繊維製品	-5.99	情報・通信業	-3.35
	3 ゴム製品	-3.44	輸送用機器	-3.95	その他金融業	-5.73	サービス業	-2.58
	4 精密機器	-2.75	繊維製品	-3.55	食料品	-4.32	電気機器	-1.03
	5 繊維製品	-2.30	その他製品	-3.11	精密機器	-3.27	その他製品	-0.77
	6 輸送用機器	-2.09	サービス業	-1.50	銀行業	-2.84	金属製品	-0.75
	7 サービス業	-2.05	金属製品	-0.59	化学	-1.32	その他金融業	-0.62
	8 銀行業	-1.26	パルプ・紙	-0.12	サービス業	-1.24	輸送用機器	-0.58
	9 金属製品	-0.89	銀行業	0.36	建設業	-1.20	医薬品	-0.58
10 パルプ・紙	-0.16	食料品	0.74	輸送用機器	-1.08	機械	-0.30	

(注) 単位は (%)。リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融経済研究所

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

### 3. 個別銘柄パフォーマンス・レビュー

#### 寄与度上位は、ソニー (6758)

ここでは、個別銘柄の各指数へのパフォーマンス寄与度をランキングし、その結果に基づき、上位・下位 5 社を示している (図表 6)。なお、月次リターンは、円建てベースで示した。

Russell/Nomura Prime 指数を構成する銘柄のうち、ソニー (6758) が 0.166%と最も高い寄与度を示した。同銘柄の月次リターンは 11.17%となった。次いで、高い寄与度を示したのはエヌ・ティ・ティ・ドコモ (9437) となっている。一方、マイナスの寄与度が大きかったのは、三井住友フィナンシャルグループ (8316) などとなっている。

図表 6 個別銘柄パフォーマンス寄与度上位・下位 5 社

Prime: 1.78%						Top: 1.99%					
上位銘柄	順位	寄与度 (%)		リターン (%)		順位	寄与度 (%)		リターン (%)		
		1	6758	ソニー	0.166		11.17	6758	ソニー	0.313	11.17
2	9437	エヌ・ティ・ティ・ドコモ	0.148	17.93	9437	エヌ・ティ・ティ・ドコモ	0.279	17.93			
3	5401	新日本製鐵	0.111	13.06	5401	新日本製鐵	0.210	13.06			
4	8058	三菱商事	0.103	13.11	8058	三菱商事	0.194	13.11			
5	5405	住友金属工業	0.090	16.80	5405	住友金属工業	0.169	16.80			
下位銘柄	1	8316	三井住友フィナンシャルグループ	-0.123	-6.50	8316	三井住友フィナンシャルグループ	-0.232	-6.50		
	2	7267	本田技研工業	-0.116	-6.95	7267	本田技研工業	-0.218	-6.95		
	3	7974	任天堂	-0.107	-11.52	7974	任天堂	-0.201	-11.52		
	4	8411	みずほフィナンシャルグループ	-0.093	-4.60	8411	みずほフィナンシャルグループ	-0.174	-4.60		
	5	2914	日本たばこ産業	-0.092	-6.72	2914	日本たばこ産業	-0.174	-6.72		

Large-V: 2.98%				Large-G: 0.82%				Small: 1.09%							
上位銘柄	順位	寄与度 (%)		リターン (%)		順位	寄与度 (%)		リターン (%)		順位	寄与度 (%)		リターン (%)	
		1	6758	ソニー	0.401		11.17	5405	住友金属工業	0.199		16.80	2501	サッポロホールディングス	0.081
2	8058	三菱商事	0.249	13.11	8802	三菱地所	0.147	6.96	6767	ミツミ電機	0.080	23.51			
3	5401	新日本製鐵	0.242	13.06	9020	東日本旅客鉄道	0.139	8.48	5541	大平洋金属	0.067	19.03			
4	9437	エヌ・ティ・ティ・ドコモ	0.218	17.93	9437	エヌ・ティ・ティ・ドコモ	0.129	17.93	7004	日立造船	0.052	31.21			
5	8031	三井物産	0.179	10.48	4502	武田薬品工業	0.128	3.43	5480	日本冶金工業	0.046	37.30			
下位銘柄	1	7267	本田技研工業	-0.233	-6.95	7974	任天堂	-0.238	-11.52	4756	カルチュア・コンビニエンス	-0.049	-23.96		
	2	7201	日産自動車	-0.103	-9.02	8316	三井住友フィナンシャルグループ	-0.225	-6.50	4723	グッドウィル・グループ	-0.045	-17.36		
	3	8316	三井住友フィナンシャルグループ	-0.053	-6.50	8411	みずほフィナンシャルグループ	-0.183	-4.60	8585	オリエントコーポレーション	-0.043	-23.27		
	4	5108	ブリヂストン	-0.051	-4.96	8591	オリックス	-0.105	-5.78	7732	トブコン	-0.043	-22.45		
	5	6902	デンソー	-0.045	-4.75	2914	日本たばこ産業	-0.102	-6.72	5232	住友大阪セメント	-0.037	-12.84		

(注) リターンは円建て・配当込みのものである。

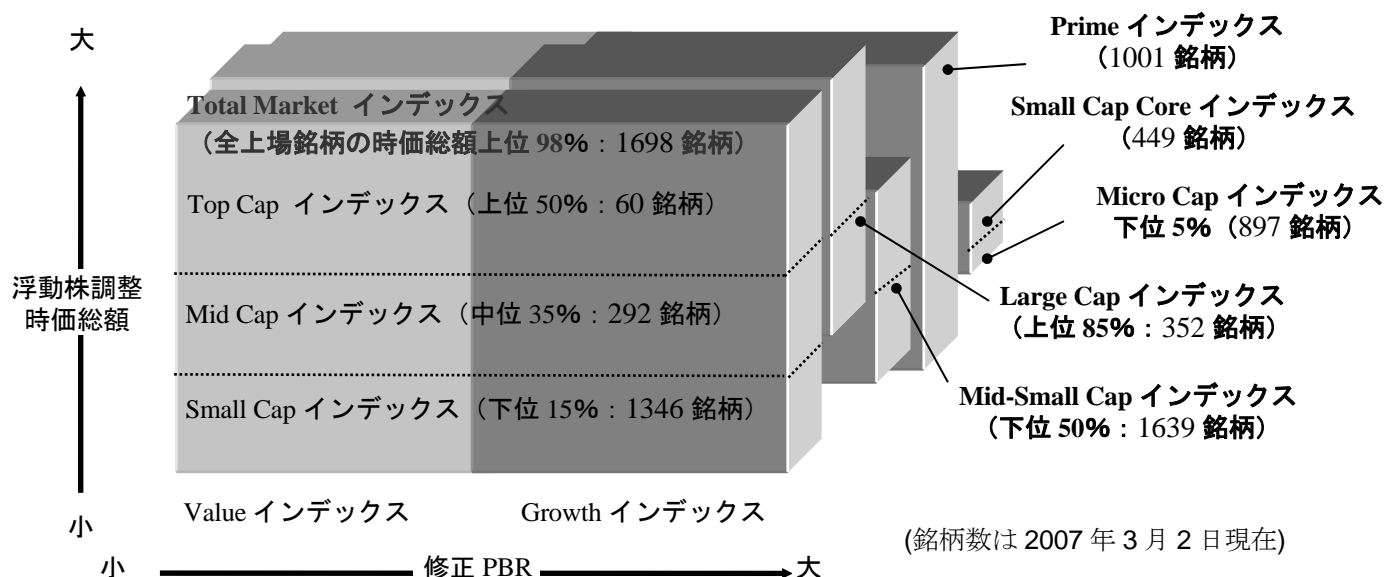
(出所) 野村証券金融経済研究所

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

## Q&A Russell/Nomura 日本株インデックスについて

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスって何ですか？

A: Russell/Nomura 日本株インデックスは米国、フランクラッセルカンパニーと野村証券金融経済研究所が共同開発した日本株式投資スタイルベンチマークです。



この他に 33 業種別インデックス (Total Market、規模別、Value、Growth、Prime) も用意されています。なお、規模別インデックスの分類指標は、安定持ち株控除後の時価総額です。Value/Growth インデックスの分類指標は、自己資本の含みを修正した修正 PBR です。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのルールブックはどこにありますか？

A: 2006 年度版は、  
[http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/docs/RN\\_rule2006.pdf](http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/docs/RN_rule2006.pdf)  
 をご覧ください。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのデータを見たいのですが、どこで公表していますか？

A: 以下の情報端末でご覧いただけます。

Bloomberg	: RNJI
時事通信	: SQ21、SQ22、SQ23、SQ24
QUICK	: NRIJ500~504、510~517
REUTERS	: FRCNRI01、FRCNRI02、FRCNRI03、FRCNRI04
INTERNET	: <a href="http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html">http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html</a>

なお、<http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html> からは、最新のインデックスリターン、構成銘柄、構成銘柄の変更などがご覧いただけます。

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役職員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのデータが欲しいのですが？

A: インデックスリターン、インデックス個別銘柄時価総額ウェイト、個別銘柄情報については、  
<http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html> からダウンロードできます。QUICK、REUTERS、Bloomberg  
においても一部に限られますが、データを取得できます。それ以外に関しましては、下記の連絡先  
にお問い合わせください。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスについて英語の資料が欲しいのですが？

A: <http://qr.nomura.co.jp/en/frcnri/index.html> をご覧ください。

上記以外の Russell/Nomura 日本株インデックスに関するお問い合わせ先

中嶋 啓浩・徳野 明洋・平野 由美子：idx\_mgr@frc.nomura.co.jp  
電 話：03(3274)0924

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村證券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村證券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村證券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村證券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村證券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします